

2020年へ向けて 小平からできること

2年後の東京2020オリンピック・パラリンピックをより身近に感じられるよう、私たちにできることや小平からできることについて、小平在住で、1976年開催のモン트리オールオリンピックバレーボール女子金メダリストの吉田昌子さんに伺いました。

金メダリストとして 自治会長として

大分県出身の吉田昌子さんは、オリンピック出場を目指して上京。小平の日立バレーボール部に入部しました。現役引退後も大林素子さんから指導するなど、小平で暮らすようになって40年近くになります。

「金メダリストの自分だからこそできることをやろうと、依頼があれば足を運んで、スポーツの楽しさを伝えることができます」

「講演会ではいつも金メダルを直接持って来てもらっています。子どもたちには金メダルを見ると目の輝きが変わります。本物に触れることで一人でも多くの人に、オリンピック・パラリンピックを身近に感じてもらうたいと思っています」

「講演会や活動を通じて、東京2020オリンピック・パラリンピックへ向けて自分も何かやりたい、関わりたいと思っている人が多いと感じました。自治会のパラリンピック競技の催しは、オリンピック・パラリンピックを身近に感じてもらうために、あおぞら福祉センターにご協力をいただいていたものです。同じ自治会の役員が、東京都の補助金を活用できると調べてきてくれたり、それぞれができることで自主的に関わっています。他の自治会や自主活動グループの会合でも、オリンピック・パラリンピックへ向けて自分ができることって何かあるかなあ」と話題にするのもいいと思いますよ」

応援する気持ち 大きな力に

今後、市民の皆さんがそれぞれにできることのために、一歩前に踏み出すための応援ができたならと吉田さんは話しています。

「選手にとって、応援の声や気持ちはとても力になります。ましてや自国開催ですし、もっと機運を盛り上げていきたいですね。そのためにもふだんからオリンピック・パラリンピックのことを話題にしたり、身近なところに五輪の旗を立てたり、今からできることはたくさんあると思います。8月26日の小平青年会議所が主催する「聖花でリレー」も、市民が自分ができることをやろうと発案した企画ですし、協力したいと思っています。ぜひ浴道に出かけていただき、ランナーを応援することで、オリンピック・パラリンピックを身近に感じて、自分でできることを考えるきっかけにいただけたらと思っています」



東京2020応援プログラム 市民ランナーと小平ゆかりのゲストランナーが 青梅街道を聖花でリレー・トークショー

市民ランナーと小平ゆかりのゲストランナーと一緒に、花で作ったたいまつ(聖花)を持って青梅街道を走ります。ランナーをみんなで応援して、2年後に開催される東京2020オリンピック・パラリンピックを小平から盛り上げましょう。

日程 8月26日(日)
▷オープニングセレモニー…午前11時30分から 小平神明宮(小川町1-2573)
▷聖花ランナースタート…午後0時15分 (ゴールは午後1時40分を予定)
小平神明宮スタート・熊野宮ゴール

※ランナーは信号やバス停を避けて交代しますので、実際に交代する場所は異なる場合があります。
▷トークショー・市民プレゼンテーション…午後1時40分から 熊野宮(仲町361)
※荒天時は、西武信用金庫小平支店(学園東町1-4-29)で開催。

主催 小平青年会議所
後援 こだいら観光まちづくり協会、小平市教育委員会、小平市
問合せ 小平青年会議所 ☎042(343)4855

